

平成26年1月6日（月）、平成26年長久手市役所仕事始め式が、市役所西庁舎研修室で職員約120人が参加して行われました。

市長の年頭あいさつを紹介します。



あけましておめでとうございます。

私は1月3日に市内各所を歩いて回り、その様子を見てきました。この小さな長久手市内でも、それぞれの地域で異なっており、地域ごとに特色があると感じました。

さて、年末に厚生労働省から平成25年の人口動態統計の推計が発表されました。人口の自然減は、過去最多の約24万人と発表されました。2050年には、日本の人口は9,700万人ほどになると言われています。これから人口減少は、加速度を増していきます。日本の人口が減っていく中で、みなさんには、これまでの仕組みや考え方を変えて取り組んでほしいと思います。

ただ、価値観を変えるのは非常に難しいことです。職員のみなさんには、どうしたら仕組みや考え方を変えていくことができるのか、一緒に考えてほしいと思います。

そのため今年、人づくりに力を入れていきたいと考えています。住民のみなさんと一緒にまちを作っていくと呼びかけています。ワークショップにくだびれたという声も聞こえてきます。2050年に向けた新しい仕組みを作るのは、役所だけではできません。市内に暮らす素晴らしい能力を持った方々をどう巻き込んでいくにはどうしたら良いか工夫が必要です。「その工夫とは何ですか？」と私に聞く職員もいます。そうではなく、一緒に考えていきましょう。

そのため今年、人づくりに力を入れていきたいと考えています。

住民のみなさんと一緒にまちを作っていくと呼びかけています。ワークショップにくだびれたという声も聞こえてきます。2050年に向けた新しい仕組みを作るのは、役所だけではできません。市内に暮らす素晴らしい能力を持った方々をどう巻き込んでいくにはどうしたら良いか工夫が必要です。「その工夫とは何ですか？」と私に聞く職員もいます。そうではなく、一緒に考えていきましょう。

年未年始に、多くの市民の方と話をしました。

その中で「りかつ」という言葉を聞きました。私は初めて聞く言葉でしたので、「りかつって何ですか？」と尋ねたら、婚活ならぬ「離活」、離婚活動だと教えてもらいました。一緒に暮らしてもいいけど、離婚したいというのです。その後、何人かのご婦人とこの話をしたら、一様に「そうそう」とうなずいておられました。こうした話を柔軟に受け入れられることも大切だと思います。

これは極端な話として、まちに出ると、いろんな話を聞くことができます。話し合っているうちに新しいものが見つかるかもしれません。パソコンに向かっていただけでは、決して見つけることはできません。

今年の消防出初式は、これまでの長久手小学校から会場を移し、初めて南小学

校で行います。開催場所を変えるのにも時間がかかりました。準備する消防職員のみなさんには、大変なご苦勞があったと思います。誰もが「新しいこと行うには苦勞が多いので、やりたくない」と思うものです。でも、そこから一步を踏み出し、新しいことにチャレンジしてほしいと思います。

今朝、庁舎内をぐるっと回りました。「また働くのか…」と暗い顔をしている職員も何人かいました。同じ働くなら、楽しく働いてほしいと思います。あいさつにしても、まずは自分の隣席の職員に声をかけ、そして同じ職場の人、そしてまちの人にも幅を広げて行ってほしいと思います。

同じことの繰り返しではありますが、仕事始めにあたり年頭のあいさつといたします。今年も一年、どうぞよろしく申し上げます。